



2005 ITU Triathlon World Cup, Ishigaki  
 2005 ITU トライアスロン ワールドカップ 石垣島大会  
 2005 NTT Triathlon Japan Cup, 1<sup>st</sup> Stage  
 NTT トライアスロン ジャパンカップ 第1戦  
 15<sup>th</sup> May 2005



庭田清美(アシックス・ザバス)が2位、関根明子 (NTT 東日本・NTT 西日本) も3位に

2005ITU トライアスロンワールドカップ石垣島大会が、5月15日(日)、沖縄県石垣市の特設コースで行われた。女子は午後1時のスタート。ロレッタ・ハロップ (オーストラリア) がスイムを終始リードし、ニコル・ハケット (オーストラリア)、ローラ・ベネット (アメリカ) と続く。日本選手は庭田がスイム6位の好位置でバイクへ。中西真知子 (NTT 東日本・NTT 西日本) は10位、関根は15位でトランジションに入った。

バイクでは、ハロップが逃げ続け、ハケットとベネットが第2集団で追う。庭田と中西は第3集団、関根は第4集団につけていた。

ランでは、第3集団と第4集団から追いつけた選手たちが先行するハロップ、ハケット、ベネットを次々とパス。第3集団から前へ出たサマンサ・ワリナー (ニュージーランド) じわじわと追いつき、ITUワールドカップで初優勝を飾った。レース後ワリナーは、「いいコースで、曇りだったのが良かった。後ろから追いつけてくるランナーたちから逃げ切れてホッとした」と語った。

'97年の蒲郡大会、昨年の石垣島大会に続いて3度目の2位となった庭田は、「ランがきつかったけど、今年是最初から飛ばしていこうと思っていたのが良かった」とコメントした。3位の関根は、'00年の石垣島大会、'03年の蒲郡に続いての3位。関根は、「第4集団から追いつけて3位になったのが収穫」と話した。

午後3時45分にスタートした男子は、アンディ・ポッツ (アメリカ) がスイムトップ。平野司 (関西大学) は2位でスイムを終え、後続は1分以内に33名が入る混戦模様となった。

6周回のバイクでは、回を重ねるごとに集団がふくらみ、そこから逃げる選手がいたがすぐに吸収されることを繰り返す。最終的にはディディール・ブローカー (スイス) を含む5名が最初にランへと移った。

ランでは、満を持していたように飛び出したハンター・ケンパー (アメリカ) とビクター・プラタ (アメリカ)、カートニー・アトキンソン (オーストラリア) が競り合いを続け、結局アトキンソンが2度目の石垣島大会の優勝を決めた。日本選手男子は、平野の13位が最高位だった。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。

